

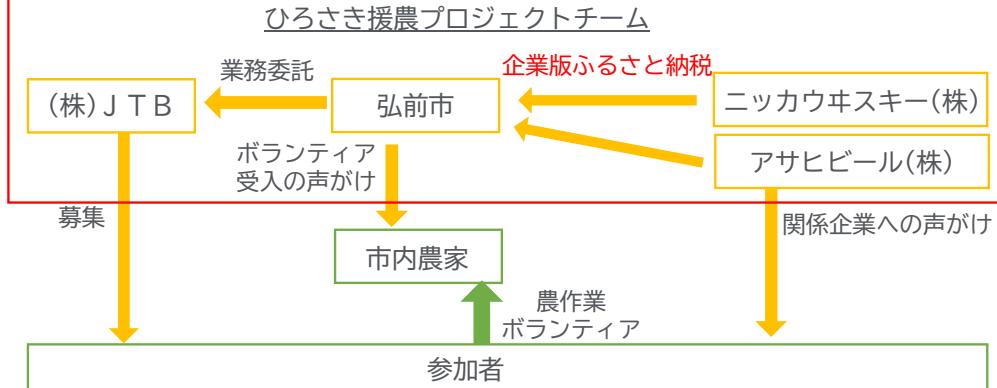
ひろさき援農プロジェクト（援農ボランティアツアーア）

事例概要

自治体名	ひろさき 青森県弘前市
寄附額 寄附件数	¥ 10,000,000 / 2件
寄附までの プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度よりニッカウヰスキー(株)が援農ボランティアを実施。 アサヒビール(株)およびニッカウヰスキー(株)から、地域のりんご・シードル産業の活性化に役立ててほしい、と寄附の申し出。
事業概要	<p>【農業・観光連携りんご産業活性化事業】 弘前市の農業課題である繁忙期の労働力不足の解決に向けて、その一助となる援農ボランティアツアーアを実施。</p>
実施状況 (令和6年4月現在)	令和5年度に事業開始。令和5年10月～11月にかけて全5日実施し、全国から282名が参加。
寄附企業の 活用ポイント	りんごを原料とするシードルを製造・販売する両企業が、りんご・シードル産業の課題解決や活性化を図るため。
寄附企業との 連携・交流等	<ul style="list-style-type: none"> 飲料メーカーと弘前市での協議の中りんご産業の支援案がうまれ、(株)JTBに業務を委託し4者で構築。 飲料メーカー及び旅行業界の社員もボランティアツアーアに参加。
寄附企業紹介URL	https://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/seido/kigoubanfurusatonouzei.html

事業スキーム・体制

■企画・運営



(プロジェクト概要)

全国からりんご収穫ボランティアの参加者を募り、弘前市内のりんご農家のもとで1日従事していただくツアーアを企画・運営する事業。
 また、ツアーアの前後に観光滞在できるよう宿泊助成を行い、農業と観光の連携により関係人口の増加も図る。



(令和5年度) 援農ボランティアツアーアの様子

【企業版ふるさと納税活用プロジェクト】林業の振興に関する取組

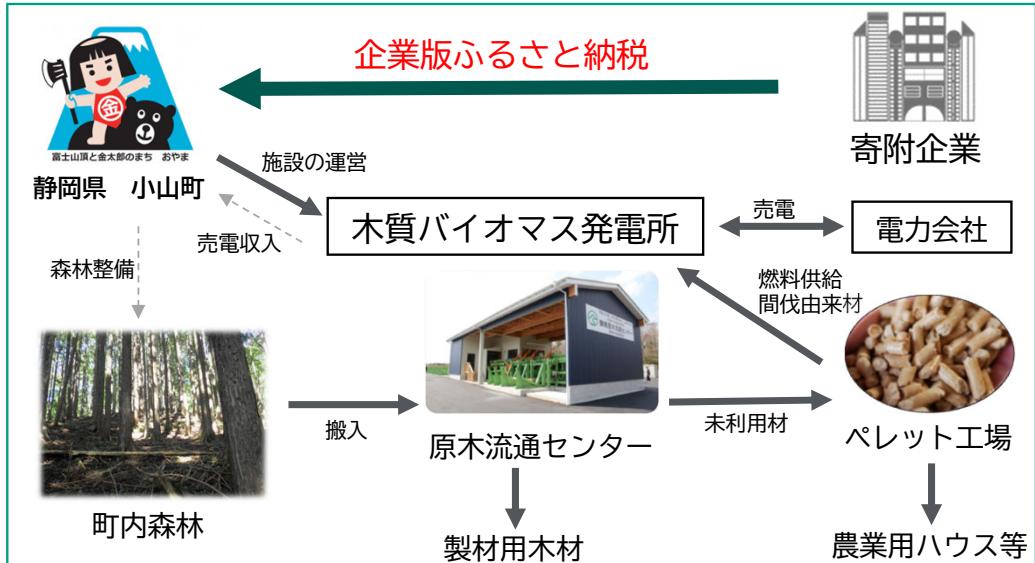
おやまちょう

小山町木質バイオマス発電事業（森の金太郎発電所）

事例概要

自治体名	おやまちょう 静岡県小山町
寄附額 寄附件数	¥ 10,300,000 ／ 9件（令和5年度時点の累計）
寄附までの プロセス	町内進出予定企業、林業関係企業に木質バイオマス発電事業の趣旨を説明し、寄付を募った。
事業概要	町内の山林から産出される未利用材（間伐材）を燃料とした木質バイオマス発電事業をおこなっており、年間1,168千kwh（令和5年度実績）の発電をしている。
実施状況 (令和5年12月現在)	令和2年度より事業化済み
寄附企業の 活用ポイント	脱炭素社会に向けた取組に対するCSR活動の一環
寄附企業との 連携・交流等	林業関係者と協力し、林業振興に資するバイオマス発電所の運用に必要な寄附を募った。寄附企業で林業振興に関して町長との意見交換会を実施した。
寄附企業紹介URL	https://www.fuji-i-oyama.jp/sangyoumachi_08FL3BYL.html

事業スキーム・体制



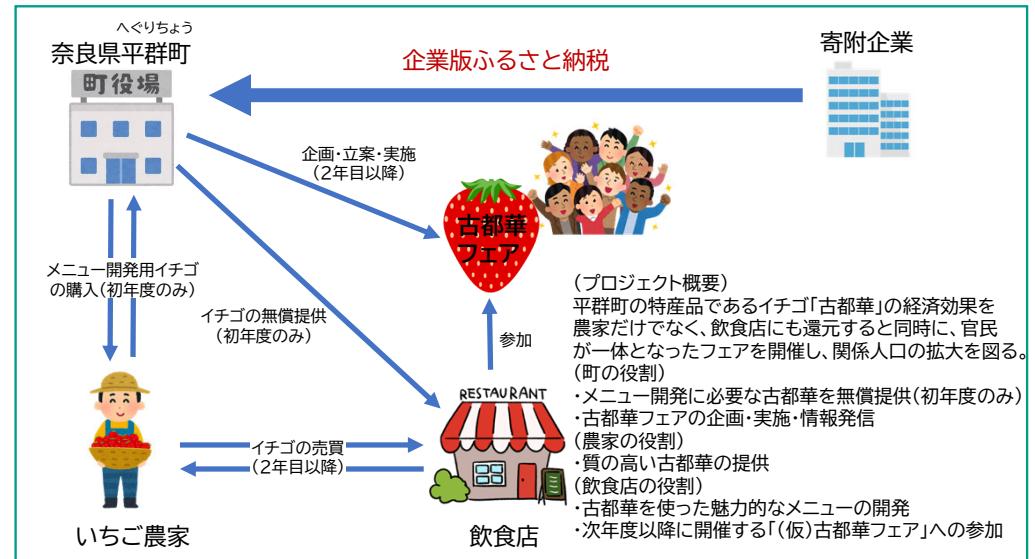
【企業版ふるさと納税活用プロジェクト】農業の振興、関係人口の創出・拡大の取組

ことか 『古都華』PR推進プロジェクト

事例概要

自治体名	奈良県平群町
寄附額 寄附件数	¥ 288,468 / 1件 (令和5年度時点の累計)
寄附までの プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 町HPで企業版ふるさと納税の募集を開始 奈良中央信用金庫から「町内事業者の振興に役立ててほしい」と寄附の申し出 観光産業課とまち未来推進課で事業を企画、実施
事業概要	町内飲食店と連携して、本町で最も人気のある特産品の1つであるイチゴ「古都華（ことか）」を活用したメニュー開発及びフェアを開催することで、関係人口の拡大とイチゴ農家だけでなく、飲食店の活性化を図る。
実施状況 (令和6年3月現在)	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年12月 事業企画 令和6年1月 参加事業者募集 令和6年2月 商品開発完了 令和7年2月 フェア開催予定
寄附企業の 活用ポイント	地域とともにある金融機関として、地方創生や地域活性化に寄与
寄附企業との 連携・交流等	寄附企業の店舗における古都華フェアのポスター掲載及びチラシの配架等による情報発信
寄附企業紹介URL	https://www.narachuo-shinkinbank.co.jp/

事業スキーム・体制



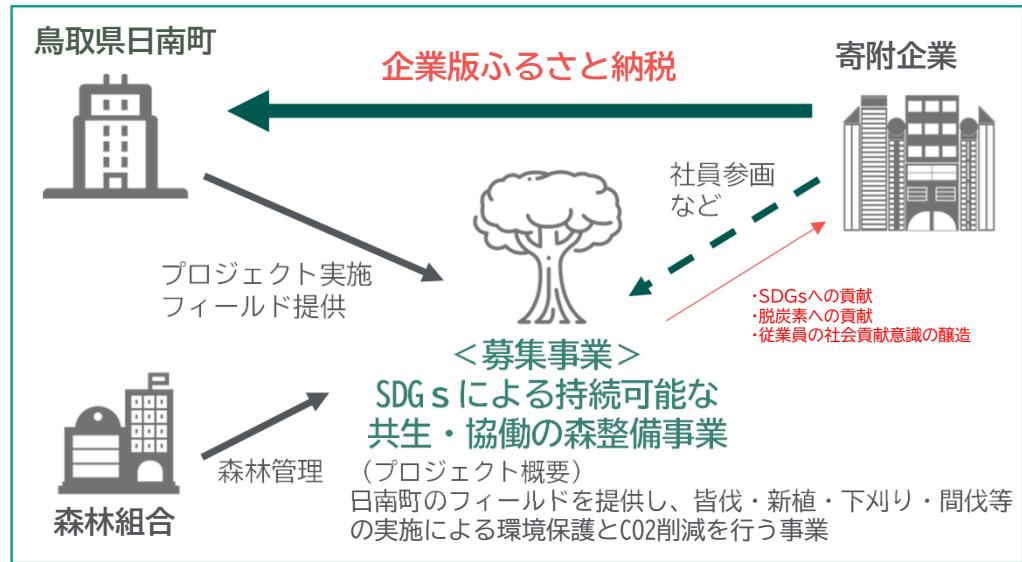
(例) 飲食店で開発された古都華を使ったメニュー

SDGsによる持続可能な共生・協働の森整備事業プロジェクト

事例概要

自治体名	にちなんちょう 鳥取県日南町
寄附額 寄附件数	¥ 10,700,000 ／ 10件（令和5年度時点の累計）
寄附までの プロセス	地元企業、地元金融機関、マッチング事業者等から企業の紹介、企業の求める社会貢献活動を町で実施可能か両者で協議を行い、すり合わせ
事業概要	町域の約9割を占め、年間素材生産量が鳥取県の1/3を占める山林について、皆伐・植林・下刈り・間伐等の実施による環境保護とCO2削減を行う事業を実施。 ※補助事業なし
実施状況 (令和5年12月現在)	令和2年度より事業化済み
寄附企業の 活用ポイント	・CO2の削減量等について定量的な数値データを、自治体から寄附企業へ提供 ・CSR活動の一環
寄附企業との 連携・交流等	企業との協議を踏まえた事業を実施。 【例】社員研修として町有林内での植林・伐採体験
寄附企業紹介URL	https://www.town.nichinan.lg.jp/soshikikarasagasu/somuka/furusatonouzei/kigyo/kigyoubannhurusatonouzei.html

事業スキーム・体制

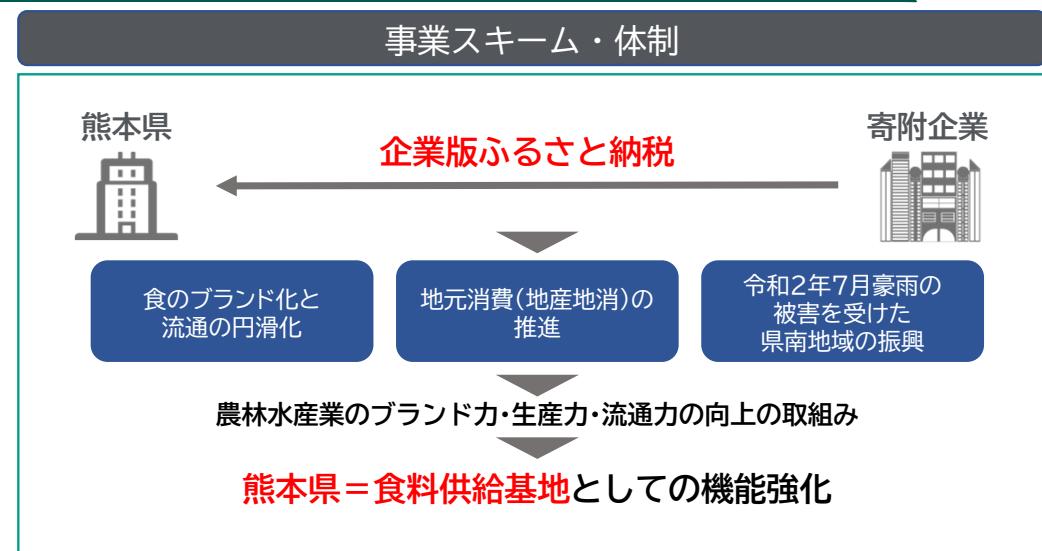


(例) 3.56ha／8,900本の植林を実施した様子（4月～11月）

【企業版ふるさと納税活用プロジェクト】農業の振興に関する取組

熊本県農林水産業のブランド力・生産力・流通力の向上の取組み

事例概要	
自治体名	熊本県
寄附額 寄附件数	金額非公表／1件（令和5年度時点の累計）
寄附までの プロセス	プロジェクト紹介動画の作成、内閣府主催のオンラインマッチングイベント登壇、企業からの問合わせなど
事業概要	<p>◆食のブランド化と流通の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①トレーサビリティの導入による消費者の信頼確保 ②フードバリューチェーンの最適化による新たな付加価値の伝達 ③大都市圏への県産品供給を維持するための物流体制の構築 <p>◆地元消費（地産地消）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校給食における地元食材の利用、理解促進 ②直売所のネットワーク化による消費促進 <p>◆令和2年7月豪雨の被害を受けた県南地域の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ①田んぼダムの取組みの推進（球磨川流域治水プロジェクト） ②多様な企業等の農業参入促進と地域経済の活性化 ③「くまもと県南フードバレー構想」の更なる推進と地場企業の育成
実施状況 (令和6年3月現在)	令和5年度 より事業化済み
寄附企業の 活用ポイント	HP掲載によるPR、関係自治体とのパートナーシップ構築など
寄附企業との 連携・交流等	各種イベントの案内 など
寄附企業紹介URL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/51523.html



県HPへの動画掲載やマッチング会などへの登壇により事業をPR



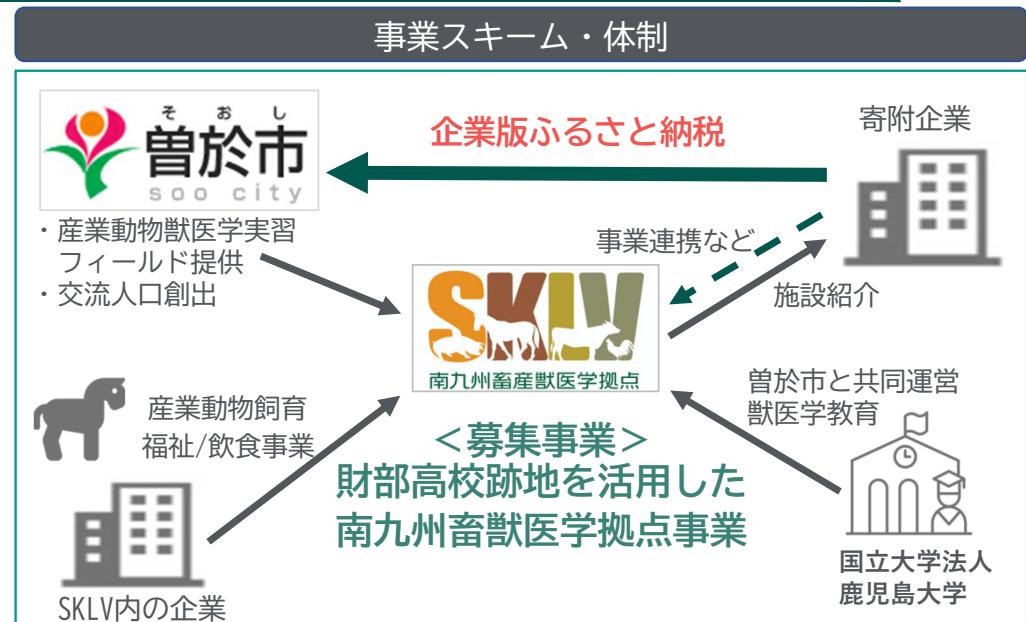
事業内で各種イベントの開催

【企業版ふるさと納税活用プロジェクト】畜産の振興に関する取組、関係人口の創出・拡大の取組

たからべ

財部高校跡地を活用した南九州畜獣医学拠点事業

事例概要	
自治体名	鹿児島県曾於市 そおし soo city
寄附額 寄附件数	¥ 228,500,000 円 / 89 件（令和6年度時点の累計）
寄附までの プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体から企業版ふるさと納税の募集を実施 ・マッチング事業者等から企業を紹介され、企業が求め る社会貢献活動を市で実施可能か両者で協議
事業概要	<p>南九州畜産獸医学拠点（通称：SKLV（スクラブ））を、国際（欧米）水準の実践的学部教育と専門的学び直し教育の拠点とし、全国から畜産・獸医学部生を受け入れ、農畜産業を取り巻く大きな環境変化に対応できる能力を備えた獸医師及び畜産技術者を養成するとともに、当該施設の人材・施設等を活用し、地域の畜産関係者及び畜産農家に最新の家畜防疫技術等の学びの場を提供することにより、農畜産業の更なる振興、人材の育成・確保及び新しい人の流れを生みだす。</p>
実施状況 (令和6年6月現在)	令和6年度より事業化
寄附企業の 活用ポイント	農畜産業に係る人材育成・地方創生
寄附企業との 連携・交流等	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内に銘板の設置による寄附企業の情報発信 ・寄附企業社員に対する施設の見学ツアーの開催
寄附企業紹介URL	https://www.city.soo.kagoshima.jp/gyousei/kihunituite/2021-0412-1534-10.html



南九州畜産獸医学拠点の施設全体



施設内で飼育する馬での臨床実習の様子